

【高等学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立佐賀工業高等学校(全日制)
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度は、学校教育目標を達成すべく、年度の重点目標を定め、各評価項目について取り組み、「概ね達成できた」と考える。 ・工業技術者となるためには、自ら学ぶ姿勢を身につけさせることが大切であるが、生徒アンケートでは「家庭学習の定着」の項目が低評価であった。本年度は取り組みを充実させたい。 ・今年度は学科改編し6学科6クラスの完成年度となる。興味・関心の高まる教育課程を編成し、将来を見据えた工業教育の活性化を図りたい。
2 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の発展のみならず、日本の産業界を牽引し、倫理観をもって未来に貢献する優秀な工業技術者を育成する。 ・主体的な学び、協働学習、探究活動を重視した教育を実践し、時代に即した柔軟な考え方を創造できる力を育む。 ・専門分野の基礎的な知識・技術を習得するとともに、先端技術と融合させた学習を取り入れ、文武バランスの取れた環境を整えることで、自ら学び、考え、行動できる生徒を育成する。
3 本年度の重点目標	<p>〇“ものづくり”から“者(ひと)づくり”そして“未来(あす)づくり”</p> <p>ア 新たな課題への着実な対応 イ 深い生徒理解に基づく指導 ウ 規律ある高校生活の定着</p> <p>エ ものづくり教育の推進 オ 部活動の充実</p>

4 重点取組内容・成果指標				5 最終評価				主な担当者
(1) 共通評価項目				最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	〇わかる授業の実践と学習意欲の向上に向けた学習指導の充実	〇授業アンケートにおいて丁寧で分かりやすい授業と感じている生徒95%以上を目指す。	・校内において研究授業、公開授業を行い、職員相互で良いところを取り入れ、分かりやすい授業を目指す。	*				教務
	〇資格取得の推進 ・各科の重点資格と基礎資格の合格率の増加 ・ジュニアマイスターの取得者の増加	〇資格取得において80%以上の合格率を目指す。 〇ジュニアマイスター取得者数、ゴールドとシルバーで50人以上、ブロンズを含め100人以上の取得を目指す。	・担任や科と連携して資格取得者を増やす。 ・全員受験基礎資格の指導徹底と補習体制の強化を図る。		*			
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	〇生徒の状況把握に努め、長期欠席者0(ゼロ)にする。	・心の教育に関する講話を学期に1回行い、生徒が安心して学校生活を送ることができるよう努める。	*				生徒指導
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	〇年間7回以上のいじめアンケートを実施する。 〇生徒が安心して学校生活を送ることができるように相談環境を整える。	・いじめアンケートの結果をもとに教職員やスクールカウンセラーとの連携を密にし、早期発見・早期対応に努める。 ・常時、生徒が相談できる環境を整え、生徒の居場所をつくる。	*				教育相談
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	◎「佐賀県に誇りや愛着を感じる」と回答した生徒80%以上を目指す。	・「佐賀語」を活用し、佐賀県の良さを再発見させる。また、ふるさと佐賀の課題を設定しクラス討議を行う。 ・外部指導者を招聘し、郷土愛を育む講演を行う。		*			
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒100%を目指す。 〇朝食を毎日食べる生徒90%以上を目指す。	・学校だより、保健だより、ホームページ等で食事と健康に関する情報を家庭・地域に発信する。 ・関連する教科等において食に関する指導の視点を位置づけて指導するための共通理解を図る。	*				保健厚生
	●安全に関する資質・能力の育成 〇「モラル」の形成 ・交通に関するモラル ・SNS利用に関するモラル	〇生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。 〇ネットハトロール指導事業を0(ゼロ)にする。	・各種集会(学年・全校)で、具体的事例を挙げた講話を行い、生徒のモラルの向上を図る。 ・生徒の安全に対して、警察と連携を密にし、モラルの向上に努める。		*			
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ・教職員の時間外在校等時間の年間平均を昨年より10%削減する。	・校務を見直し、業務の効率化を図ることにより個人負担を軽減する。 ・定時退勤推進日、部活動休養日、学校閉庁日を設定し、時間外勤務時間の縮減とともに休暇を取得しやすいようにする。	*				副校長
	〇事務職員の学校運営への積極的参画と教員との連携促進	〇教育行政職員の専門性を活かし、経営的視点を持ちながら学校運営に積極的に参画する。	・教員との連携を密にし、情報共有を行い、学校の現状を把握して一つのチームとして学校運営に取り組む。		*			
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
〇進路実現	〇生徒・保護者の希望や要望に応じた進路指導の充実	〇進路意識を高め、職業観・勤労観を育成し、キャリア教育の推進を図る。 ・就職試験の1次合格者を95%を目指すし、年内の進路決定100%を目指す。	・卒業後の就職先や進学先でのミスマッチを防ぐ観点からも、企業や大学等からの詳細な情報提供や個人面談を行う。 ・企業への訪問を積極的にを行い、情報収集を行う。 ・進学者対策として、補習等で基礎学力を向上させる。 ・面接や集団討議の指導を実施する。	*				
★ものづくり教育の推進	★実習・課題研究等の学習をとおして協働する態度を育む 〇各種ものづくり大会での全国出場	★互いに協力し合って学習に取り組めたと思う生徒80%以上を目指す。 〇各種大会で3つ以上の全国大会出場を目指す。	・主体的・協働的、探究的学びを取り入れ、実習のアップデートを図っていく。 ・生徒同士で切磋琢磨する環境づくり、実践的な指導を取り入れていく。	*				主幹教諭
〇部活動の充実	〇部活動を通し、幅広い人間関係の育成	〇生徒アンケートにおいて部活動で、よりよい人間関係を築けた生徒80%を目指す。 ・部活動加入率90%以上を目指す。	・無所属の生徒に部活動紹介や加入についての呼びかけを行う。	*				特活指導
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり								
5 総合評価・次年度への展望								